

令和元年度事業計画に対するさむかわ男女共同参画プラン推進協議会の意見等

平成31年3月28日開催

| 事業番号 | 事業名 | 担当課 | 推進協議会委員の意見・要望 | 担当課等の回答 |
|------|-------------------|---------|--|---|
| 事業全体 | 指標・目標値について | - | ・各事業の指標・目標数値が参加者数や開催回数、満足度など統一されていない。回数ではなく人数で捉えていくべきではないか。 | 各事業の指標について、事業の実施指標となっているものと事業成果とが混在しています。第5次プラン策定時に検討していきたいと考えます。 |
| 1 | 管理職への女性登用の推進 | 総務課 | ・数値を上げていくために、今までと違う施策や研修など具体的に何かしていく予定はあるのか。何もしないと、同じ結果になってしまう。PDCAをきちんと見ていく必要があるのではないか。 | 男女隔たりなく研修を実施していますが、女性管理職登用に繋がる研修等を検討していきたいと考えます。 |
| 9 | 暴力防止に関する意識啓発 | 町民窓口課 | ・町ホームページによる啓発について 平成28年度の実績の中で、ホームページに訪問してくる件数が少ない。訪問件数を増やすには、サイトの見やすさが求められると思う。実際に町のページを検索したが、すぐに到達できず、階層が深くなっているの、探しに行ってみつかるといった状況だった。最初の画面で先にもどのぐらいの項目が並んでいるか表示できるようなことができればいいのではないか。藤沢市のホームページがわかりやすく、マウスの矢印を当てると見れる状況なのでご検討いただきたい。 | DVIに関する相談は、ホーム画面の「暮らしの場面別から探す」の中に表示されている「相談」をクリックすると、町で行っている各種相談の1つとして表示されるようになっております。しかし、この「相談」に気付けないと検索に時間を要してしまうのかもしれない。 ホームページの構成については広報戦略課の所管となり、今後見直しの予定もございますので、ご意見を伝えてまいります。また、担当課としてもより見やすいページ作りに努めてまいります。 |
| 16 | 公民館講座(健康づくり講座)の開催 | 教育総務課 | ・目標数値が低い。10名程度の事業を町の事業として取り上げるには規模が小さい。 | 公民館では年間を通じ各種テーマの講座を約120事業開催している中であって、各講座では開催のねらい、内容、講師の考え方、会場の都合等により定員の設定をしています。したがって、公民館講座に規模の大きさを求めることは適当でないと考えます。 |
| 28 | 父親・母親教室の開催 | 子育て支援課 | ・指標が満足度となっているところが気になる。 ・平成31年度の参加予定人数が60名となっているが、平成29年度実績は参加人数が延べで294人なので大幅に上回っている。実態にあった数値に上方修正した方がいいのではないか。 | ・指標は事業の成果を測るものであると認識しており、その意味で回数や人数は活動指標的意味合いが強く、成果指標としては「満足度」が適切と考える。 ・参加予定人数は、1コースあたり妊婦12人の設定で、実人数で年5コース60人としている。年間実績の延べ人数294人は、1コース4日間の教室を年5コース実施した妊婦の延べ人数であり、延べ日数20日で割った平均実人数は14.7人となる。現状では1コース12人の設定が教室実施の最適人数と考えており、上方修正の予定はありません。 |
| 29 | 母子訪問指導事業 | 子育て支援課 | ・母子訪問合計件数の実績は、平成28年度1,443件、平成29年度1,654件と目標数値1,000件を大きく上回っており、上方修正するなど措置が必要ではないか。 | ・母子訪問指導事業は、新生児訪問や健診等により、引き続き訪問による指導が必要と判断した母子を訪問し、必要な保健指導を行う事業だが、事業内容としては、必ずしも訪問件数が多いればよいというものではないと考えている。また、指標として「訪問件数」は活動指標であり、成果指標として何が適切かということも検討の余地があるので、第4次計画期間については現状のままとし、第5次計画にこの事業を位置付けることとなった場合に検討したい。 |
| 34 | 男女共同参画に関する講座の開催 | 協働文化推進課 | ・講座の参加人数について、過去の実績(平成28年度114人平成29年度164人)では目標値80人を大幅に上回っているの、目標値として上方修正したほうがいいのではないか。 | 職場や地域における男女共同参画への意識啓発を目的に講座を開催しています。平成30年度の講座参加人数は81人であったため、上方修正の予定はありません。 |